

# 輝け！フネージョ★ ～海事産業で働く女性応援プロジェクト！～

国土交通省は、海事産業における女性活躍推進のための取組として「輝け！フネージョ★」プロジェクトを開始しています。本特集では、海の世界で働く様々な職種の女性たちにお話を伺い、彼女たちが感じる仕事のやりがいやプライベートも含めた日々の生活について紹介します。

## 01 岡 あや乃 さん

独立行政法人 海技教育機構

AYANO OKA 航海士



航海士の育成を通して、  
人々の暮らしを支えたい

水産学部で学んでいた大学時代、乗船実習に参加し、テキパキと仕事をこなす航海士の姿に憧れて、この職業に就きました。現在は、船で働くプロを育てる機関の教官として練習船「海王丸」に乗り、船員を志す人たちの指導を中心に、航海計画の作成や書類の記録・管理などさまざまな業務に携わっています。より上級の資格を取ることを目標に、時間を見つけて勉強もしています。24時間海上にいる時は、常に実習生たちに気を配る必要があるため緊張感がありますが、講義で教えたことができるようになった実習生の姿を見ると、心から嬉しくなります。

意外と知られていないかもしれませんが、私たちが日常生活をする上で必要としている物の多くが船で運ばれています。これからもたくさんの人々の暮らしを支える航海士の仕事に誇りを持ち、日々の業務に励んでいきたいと思っています。

### 24 ある日のタイムスケジュール(航海中)



## 02 佐分利 逸美 さん

日本クルーズ客船株式会社

ITSUMI SABURI パーサー



世界中を巡るクルーズ船で  
快適な旅をサポート

国内外を巡るクルーズ船「ばしふいっくびいなす」に乗船し、乗組員の人事・経理・総務業務を行うパーサーとして働いています。大学卒業後、物流会社で船舶代理店業務を担当していた時に、「いつか私も船に乗って、世界中で働ける仕事になりたい」と夢を抱くようになり、2年前に海上職へ転職しました。今は憧れだった制服と共に、毎日楽しい船乗り生活を送っています。長期のクルーズになると、約3ヶ月間、船の上で働くこともあります。長丁場になるため、マラソンのようにペースを守りながら仕事を遂行することを心がけています。その反面乗船を終えると長期休暇が取れるので、海外旅行など、時間がなければできないことを満喫しています。

クルーズ船ということもあり、海事関連の業界としては比較的多くの女性が活躍しています。今後は、女性ならではのきめ細やかさを活かして乗組員たちの声に耳を傾け、親しみやすく、信頼されるパーサーになることが目標です。

### 24 ある日のタイムスケジュール



## 03 西川 明那 さん

東京湾水先区水先人会

AKINA NISHIKAWA 水先人

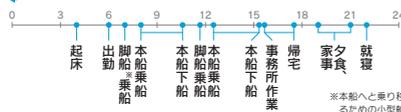


東京湾を訪れる船の安全を  
臨機応変な対応で守りぬく

一日に多くの船舶が行き交う東京湾に入港する船舶に乗船し、着岸まで安全に航行できるように船長にアドバイスするのが水先人の主な仕事です。乗船するのは外国の大型船が多く、毎回違う船に乗るため、乗船してすぐに船の特徴をつかみ、着岸までの最適な航行計画を練る必要があります。また、港内の交通量が多い時や強風時など、常に臨機応変な対応を求められる緊張感もありますが、無事業務を終え、船長から「Good job」と声をかけてもらえる時がやりがいを感じる瞬間です。

世界的にも女性の水先人は珍しいようで、すぐに顔を覚えてもらえるメリットがあります。尊敬する先輩から教わり印象に残っているのが、「水先人が船長からもらう最高の褒め言葉はExcellentではない。その上にはBeautifulがある」という言葉。これからも「Beautiful job」を目指し、離着岸操船のスペシャリストとしての道を究めていこうと思っています。

### 24 ある日のタイムスケジュール



※本船へ乗り移るための小型船

## 04 望月 杏南 さん

常石造船株式会社

ANNA MOCHIZUKI 造船業

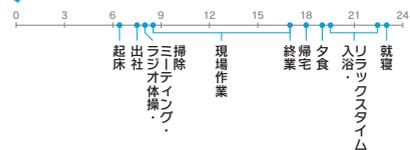


ものづくりの醍醐味と  
楽しさが味わえます

昔からものづくりに関わる仕事に就きたいという思いがあり、工業高校へ進学しました。就職活動で職場見学をした際に、大型の貨物船を大勢の人たちが力をあわせて作り上げる姿に魅力を感じ、造船業に就くことを決意しました。現在所属している加工グループでは、設計図どおりに切り出した鋼材を溶接して組み上げる部品(小組)の管理を担当しています。入社して1年ですが、目下の目標は図面を正しく理解できるようになることです。優しい先輩たちに囲まれながら日々勉強の毎日です。自分が携わった船が無事進水を迎え、大海原に出ていく船の姿を見ると、それまでの苦労が報われると同時に達成感を得られます。

大型船は一隻ごとにオーダーメイドで建造しており、多くの人々の努力が詰まった結晶です。私はまだ足を踏み入れたばかりですが、これからたくさんの知識と経験を積んで、ものづくりの醍醐味を味わっていきたくと思っています。

### 24 ある日のタイムスケジュール



# 05 久安 桂子 さん

国土交通省神戸運輸監理部

KEIKO HISAYASU 外国船舶 監督官



誇りと使命感を持って日本の海の安全を守る

私の仕事は、日本の海に入港する外国籍の船舶に対し、船体構造や設備、海洋汚染防止機器等について、国際的に定められた基準に適合しているかどうかを立入検査することです。船舶事故は人命や環境汚染等、多方面に重大な被害を及ぼします。そのため、四方を海に囲まれた日本では、船舶の安全性を確保することが特に重要です。立入検査は抜き打ちで行うため船舶側との交渉に苦慮したり、検査が長時間に及ぶなど現場ならではの大変さを伴う仕事ですが、日本の海の安全に寄与していることに誇りと責任感を持って、日々の業務に取り組んでいます。プライベートでは3人の子どもの母親として、仕事と家庭の両立に奮闘しています。子育てではママ友のネットワークを大切に、子どもたちの様子や必要な情報を得ています。これからも周囲の協力に感謝しながら、自分なりのペースで業務に必要なスキルアップを図ってまいります。



# 06 木下 久美 さん

一般社団法人 日本海事代理士会

KUMI KINOSHITA 海事 代理士



子育てと両立を図りつつ「海の法律家」として開業

船が航行するには、海事関係法令に基づいて船舶の登記・登録、検査を行い、目的に応じたさまざまな許認可の申請などを行う必要があります。海事代理士は「海の法律家」として海に係わる手続全般の依頼を受け、これらの手続を代理する仕事です。十数年前、下の子どもが幼稚園に入ったのをきっかけに、海事代理士事務所補助者としてパート勤務を開始しました。海事業界についての知識はなくても勉強しましたが、仕事を続けるうちに興味が深まり、自ら海事代理士の国家試験に挑戦することを決意しました。そして、8年前に資格を取得し、独立開業しました。海事関連法令は多岐にわたり、改正も多いため、海事代理士となった今も日々勉強していますが、今では社会人となった子どもたちも家事のサポート等をして支えてくれています。これからもお客様の依頼に正確かつ迅速に対応していけるよう、家族の協力を得ながら知識に磨きをかけていきたいと思います。



## TOPICS 国土交通省の施策

### 「輝け！フネージョ★」プロジェクト

本特集のタイトルでもある「輝け！フネージョ★」は、海事産業における女性活躍推進のための取組として国土交通省が平成30年4月に開始したプロジェクトです。海事業界の取組や先輩女性の声を広く紹介する「**海事産業における女性活躍推進の取組事例集**」を、国土交通省ホームページでご覧いただけます。

フネージョ [検索](#)



### 船員の快適な職場環境実現に向けた国土交通省の取組

船員は長期にわたり船舶という陸から離れた空間において、職住一体で過ごすという特殊な環境下におかれます。国土交通省では、こうした船員の労働環境や居住環境の改善を推進する取組を進め、船員にとってより働きやすい職場環境を実現します！

#### 労働環境改善船

(独)鉄道・運輸機構の船舶共有船建造制度において、平成30年度より、航海・荷役などの労働作業を軽減する設備に併せ、長期間の船上生活に備えた居住環境改善に資する設備を備えた船舶など、船員の快適な職場環境を実現する船舶が共有船建造の対象に追加されました！

#### 労働環境改善船設備の一例



#### 船員の労働時間の適正管理の実現

船員一人一人の労務負担を明確化し、事業者による労働時間の適正管理を促進するため、船員の作業・労働時間管理の実態や、船内でIoTを活用した労働管理を実施するために必要な調査を行うなど、陸上を遠く離れて航海する船舶で就労する船員の労働を海運事業者がリアルタイムで管理するに当たっての課題を整理し、解決するための手法について検討します。

#### 船員の労働時間の適性管理の一例

